



### 適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	シハロトリン を含む農薬の 総使用回数	ジフルベンズ ロンを含む農薬 の総使用回数	
りんご	シンクイムシ類 ハマキムシ類 キンモンホソガ アブラムシ類	1500倍	200~700ℓ/10a	収穫30日前 まで	3回 以内	散布	3回以内	3回以内	
なし	シンクイムシ類 ナシチビガ アブラムシ類				2回 以内				2回以内
みかん	ミカンハモグリガ チャノキイロアザミウマ				3回 以内				
キャベツ	アオムシ ヨトウムシ アブラムシ類	1000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前 まで	1回		1回	3回以内	
たまねぎ	ネギアザミウマ				3回 以内		3回以内		
すいか メロン	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ				3回 以内				3回以内
らっきょう	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	1500倍	200~400ℓ/10a	摘採21日前 まで	1回		1回	1回	
茶	チャノコカクモンハマキ チャノホソガ チャノキイロアザミウマ				1回	1回			





## ⚠ 効果・薬害等の注意

- 本剤のみかん及び茶での使用は場合によってハダニ類が増加することがあるので注意する。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
  - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
  - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
  - ③関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、絶対に桑葉にかからないようにする。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## ⚠ 安全使用上の注意

- 医薬用外劇物** 取扱いには十分注意する。

誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。  
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。

眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用する。

作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼する。
- 本剤はのど、鼻、皮膚などを刺激する場合、また、かゆみを生じる場合があるので注意する。
- 摘果等の作業の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用する。養殖池周辺での使用はさける。

水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

保 管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。カギをかける。盗難・紛失の際は、警察に届け出る。

- 化 管 法
- 火災時は、適切な保護具を着用し、水・消火剤等で消火に努める。
  - 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理する。

